



伝統文化わくわく体験「生け花」

10月24日(火)6時間目、伝統文化わくわく体験で2-7の生徒とフランスからの留学生2名が生け花を体験しました。江戸時代後期から200年続く伝統ある未生流の門下から6名の方が来てくださり、いけばなについて教えてくださったあと、実際に花を生けました。

初めての体験となる人が多かったのが難しかったと思いますが、いけばなは「花を生ける」だけでなく、様々な力が身につくことがわかり、いい経験になったのではないかと思います。

今日のお花は、雪柳と嗟我菊、スキヤットでした。バランスを考えてどこにどう生けるか、みんな必死に考えていましたね。



「はい、雪柳を持って」
「雪柳ってどれー??」「わからん」
持ったとたん、みんなお花をゆらゆらさせて
楽しそうでした(笑)

真剣な顔で生けています。



いけばな用のはさみを初めて使った人もいたのではないのでしょうか。

上手に使えましたか？

雪柳は「体」と「用」に使うお花。「体」は天を「用」は人を表していると教えていただきました。



嗟我菊は「留」。これは地を表しているようで、上の2つとあわせて、天地人を表現しています。
いけばな、奥が深いですね。



それぞれの花の長さ、場所、バランス、葉をどれくらい残すか、向きなどいろいろなことを考えながら生けました。

来週はどんなお花が届くのでしょうか。楽しみですね。
ガムでのホームステイのときにぜひ、日本文化「いけばな」を教えてあげられるようにしましょう。